

平成21年11月12日

各位

株式会社メイテック  
 代表取締役社長 西本 甲介  
 東京都港区赤坂8丁目5番26号  
 (コード番号9744 東証・名証第一部)  
 (URL <http://www.meitec.co.jp>)  
 問合せ先 取締役執行役員 上村正人  
 (TEL 03-5413-0131 経営情報部)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月13日に公表した業績予想(平成22年3月期通期)及び平成21年9月15日に公表した配当予想(期末配当)を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## I. 業績予想の修正

## 1. 業績予想数値の修正(平成22年3月期通期)

## ① 連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(金額の単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月13日発表)	59,000	△3,100	△3,100	△3,200	△96円53銭
今回発表予想(B)	51,000	△7,600	△2,600	△2,500	△75円41銭
増減額(B-A)	△8,000	△4,500	+500	+700	+21円12銭
増減率(%)	△13.6%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	79,898	9,280	9,260	4,303	127円31銭

## ② 個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(金額の単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月13日発表)	45,500	△1,450	△1,150	△1,200	△36円19銭
今回発表予想(B)	39,000	△5,000	△1,100	△1,500	△45円25銭
増減額(B-A)	△6,500	△3,550	+50	△300	△9円06銭
増減率(%)	△14.3%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	60,457	8,807	9,294	2,998	88円70銭

[参考]平成22年3月期業績予想の前提条件(概数)

	(株)メイテック		(株)メイテックフィルダーズ		(株)メイテックグローバルソリューションズ	
	今回発表	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表	前回発表
稼働率(通期)	70.2%	77.1%	66.0%	71.4%	23.1%	36.9%
上半期実績	70.2%	72.0%	65.6%	64.8%	24.2%	31.6%
下半期見込	70.2%	82.1%	66.4%	78.4%	21.9%	42.1%
稼働時間	8.47h/日	8.69h/日	8.57h/日	8.45h/日	7.86h/日	8.07h/日

1/2

ご注意: 本業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 業績予想修正の理由(平成22年3月期通期)

### ① 連結業績

中核事業の技術者派遣事業における足元の稼働率動向等を勘案し、連結売上高の新たな予想値を510億円、営業損失予想を76億円に修正します。

また、多数のエンジニアを正社員として常時雇用する当社を含むグループ会社は雇用調整助成金の受給を申請している為、今回の業績予想には現時点の受給見込み金額を織り込み、経常損失予想を26億円、当期純損失予想を25億円に修正します。

なお、現在は従前とは比較できない程、景況の先行きを見込む事が難しい状況にある為、本日以降において、業績予想の修正を行う可能性が例年以上に高い水準で存在する事を予めご承知おき下さい。

### ② 個別業績

主要顧客である大手製造業の技術開発投資予算も含めたコスト削減等の影響を受けた稼働率動向、一部子会社の業績見通しを踏まえた子会社株式減損損失見込み額を織り込み、業績予想を修正します。

## II. 配当予想の修正

### 1. 配当予想修正の理由

今年度の配当に関しては、平成21年5月13日に下記内容を公表しています。

平成22年3月期の配当予想については、厳しい業績予想を踏まえ、基本方針に従い、連結株主資本配当率(DOE)5%相当といたします。

但し、雇用調整助成金等の公的サポートに伴う株主資本の増加部分については、助成金等の目的に鑑み、配当計算から除外する予定です。

尚、配当の実施については、翌年度の平成23年3月期においても必要運転資金の確保が相応に見込まれる事を前提とします。資金動向の大幅な悪化が見込まれる時には、中核事業の技術者派遣事業の存続と成長の視点に立ち、配当率を見直す可能性があります。

中間配当については、助成金収入による増加部分を除外した株主資本を基準としたDOE5%相当の24円50銭といたします。

なお、現時点では雇用調整助成金を除外した場合、翌年度における必要運転資金の確保が相応に見込める状況には無いと判断し、誠に遺憾ではありますが、期末配当は見送らせていただく予定です。

当社といたしましては、株主の皆様のご期待に応えられるよう、業績の早期回復に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 2. 配当予想修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成21年9月15日発表)		24円50銭		未定	未定
今回発表予想				0円00銭	24円50銭
当期実績		24円50銭		—	—
前期(平成21年3月期)実績		47円00銭		28円00銭	75円00銭

以上